

坪井夏美

坪井夏美 (TSUBOI Natsumi) Violin

第12回東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞受賞、F.クライスラー国際コンクール、日本音楽コンクールなど国内外のコンクールにて入賞。ソリストとして読響、都響、東京フィル等多くのオーケストラと共演。東京藝術大学、同大学院修士課程を卒業し、安宅賞、アカンサス賞を受賞。ウィーン私立音楽芸術大学修士課程を修了。NHK-Eテレ「ららクラシック」、シャネルピグマリオンデイズ、宮崎国際音楽祭等に出演。

2023年3月までベルリンフィルハーモニー管弦楽団・カラヤンアカデミーに在籍し、同管弦楽団の公演に100公演以上出演。

元東京フィルハーモニー交響楽団第1vnフオーシュピラー。

©Kei Uesugi

ベートーヴェン&

シューベルト

ヴァイオリンとピアノのためのデュオ作品全曲演奏会

ベートーヴェンから

シューベルト、ブラームスへ――

美しきロマン派ヴァイオリン

ソナタの系譜を辿る！

大崎由貴

大崎 由貴 (OSAKI Yuki) Piano

広島市出身。第18回東京音楽コンクールピアノ部門第2位(最高位)。

ピアニストのイーヴォ・ポゴレリチ氏が審査員長を務める第4回マンハッタン国際音楽コンクールにて、特別金賞を受賞。

ソリストとして東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団と共演する他、多数のリサイタルや演奏会に出演。

広島大学附属高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部をアカンサス音楽賞、藝大クラヴィア賞、同声会賞を受賞し卒業。

令和2年度文化庁新進芸術家海外研修員としてザルツブルク・モーツァルテウム大学修士課程を首席で卒業後、同大学ポストグラデュエート課程を修了。

現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、愛知県立芸術大学にて非常勤講師を務める。

©YukiStudio0016-Edit

Beethoven & Schubert

<プログラム>

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第1番 ニ長調 Op.12-1

シューベルト：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 D.574

ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト長調 Op.78 「雨の歌」

*やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。

2024年

10月11日(金)

開場 18:30/開演 19:00

入場料:会員4,500円(座席指定可)/

一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)


Shibuya
Mitake
Salon


Shibuya Mitake Salon (vol.164)



ベートーヴェン& シューベルト

ヴァイオリンとピアノのための デュオ作品全曲演奏会

第3回

123
Shibuya Mitake Salon (vol.164)

2024年10月11日(金) 開場 18:30/開演 19:00

入場料:会員4,500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

ベートーヴェンからシューベルト、ブラームスへ——
美しきロマン派ヴァイオリン・ソナタの系譜を辿る!

ベートーヴェン、シューベルトというと、やはりオーケストラが聴きたく
なるクラシックファンも多いだろう。

しかし、サロンで聴く室内楽は、オーケストラにはない至福のひとつを
過ごせる特別な空間だ。

オーケストラ作品ではなかなか見えにくいシューベルトやベートーヴェン
の本音の生の声が露わになっていることに、ふと気が付く。

そう感じられた機会として挙げられたのが、坪井夏美 & 大崎由貴デュオ
が取り組む「ベートーヴェン&シューベルト ヴァイオリンとピアノのため
のデュオ作品全曲演奏会」の《第1回》での演奏だった。

事前インタビューでは、「ベートーヴェンの作品には矛盾があり、人間ら
しさや温かさを感じられる。旅人のように進むシューベルトの音楽には彼の
本質が現れているようだ」と、独自の解釈を展開した。

説得力のある演奏に、何か巨匠たちの真髄に触れられたような気がした。
演奏家が「全曲に取り組む」というのは、よほどの覚悟というか、思い入
れを感じずにはいられない。

《第1回》では、彼女たちの紡ぎ出す音楽からそんな熱量が聴き手に伝わり、
このシリーズへの期待がますます膨らんだことだろう。

さらに続く《第2回》では、「スプリングソナタ」をはじめ、シューベルト
の豊かな表現力とダイナミックな展開が聴き所のシューベルトの「華麗なロ
ンド」など、濃淡のある内容に充実した音楽の時間を愉しんだ。

坪井夏美氏は2023年3月までベルリンフィルハーモニー管弦楽団・カラ
ヤンアカデミーに在籍し、同管弦楽団の公演に100公演以上出演し、東京フィ
ルハーモニー交響楽団第1vn フォアシュペラーを経て、将来を期待されて
いるヴァイオリニストだ。

室内楽からオペラまで幅広いジャンルのクラシック音楽を愛する彼女の演
奏は、視野の広さ、知的さ、抜群のバランス感覚を備えている。

音色は輪郭のはっきりとしたもので曖昧なところがなく、粋なセンスも感
じられる。

第1回 (2023年12月26日(火))

シューベルト: 第1番 二長調 D.384

ベートーヴェン: 第8番 長調 Op.30-3

シューベルト: 第3番 短調 D.408

ベートーヴェン: 第7番 短調 Op.30-2

第2回 (2024年4月5日(金))

ベートーヴェン: 第3番 変ホ長調 Op.12-3

ベートーヴェン: 第5番 長調 Op.24「春」

ベートーヴェン: 第4番 短調 Op.23

シューベルト: 華麗なるロンド 短調 D.895

第3回 (2024年10月11日(金))

ベートーヴェン: 第1番 二長調 Op.12-1

シューベルト: 1長調 D.574

ブラームス: 第1番 長調 Op.78「雨の歌」

第4回

ベートーヴェン: 第2番 1長調 Op.12-2

シューベルト: 第2番 短調 D.385

ベートーヴェン: 第9番 1長調 Op.47「クロイツェル」

第5回

ベートーヴェン: 第6番 1長調 Op.30-1

ベートーヴェン: 第10番 長調 Op.96

シューベルト: 幻想曲 長調 D.934

大崎由貴氏は、第18回東京音楽コンクールピアノ部門第2位(最高位)、イー
ヴォ・ポゴレリチ氏が審査員長を務める第4回マンハッタン国際音楽コク
ルにて、特別金賞を受賞し、ソリストとして東響、東京フィル、新日フィル
等、多くのオーケストラとの共演実績を積み、注目を集めている。

彼女のピアノは、大自然の中から湧き上がるような和音の美しさ、包み込
むような響きの豊かさが印象的だ。波が寄せては引くようなレンジの広さ、
躍動感溢れるダイナミックさは、オーケストラの音響を彷彿とさせる。

坪井氏とは藝大の同期から始まり、留学先での偶然的な再会をきっかけに、
本格的なデュオでの取り組みに挑戦することになったそうだ。

音楽に生命を吹き込むように、同じビジョンで音楽が進んでいくので、耳
に心地よく、かつセンスの良い音楽が実に心地よい。

また時折それぞれの個性がピリッと対話する様子も面白い。

この第3回では、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスという、ロ
マン派を代表する3人の作曲家のヴァイオリンソナタが集結! ヴァイオリン
とピアノが対等なパートナーとして、音楽を作り上げていくという、ヴァイ
オリン・ソナタ(ピアノとヴァイオリンのためのソナタ)の系譜を辿るよう
な美しいプログラムとなっている。

ロマン派音楽が育んだ室内楽は、喜び、悲しみ、愛、絶望といった人間の
普遍的な感情だけでなく、沈黙美や構成美といった深遠な思想をも含み、私
たちの心に豊かな響きをもたらすだろう。

シリーズものといっても、一回ごとに起承転結の流れでドラマが詰まって
いるので、飽きずに各回を新鮮な気持ちで愉しめることだろう。

(渋谷美竹サロン)



世界に通用する才能溢れる
トップアーティストが
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしぐ
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

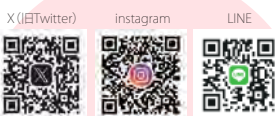
日本のトップクラスの若手演奏家が、

こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

渋谷美竹サロン(美竹清花さろん)が追求する

“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、

三位一体の努力と対話から生まれます。



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分

大好評につき
サロンメンバーズ
追加募集中!



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188



公式Webサイト

Shibuya
Mitake
Salon